

G6タンクエリアへの移送配管からのSr処理水の漏えいに係る現場確認

平成28年4月21日
福島第一原子力規制事務所

1. 目的

昨日4月20日19:20頃に確認されたSr処理水移送配管からの漏えいについて、現場状況の確認を行った。

2. 確認日時及び場所

日時 : 2016年4月21日(木) 11:30~12:00頃
場所 : G6タンクエリア付近

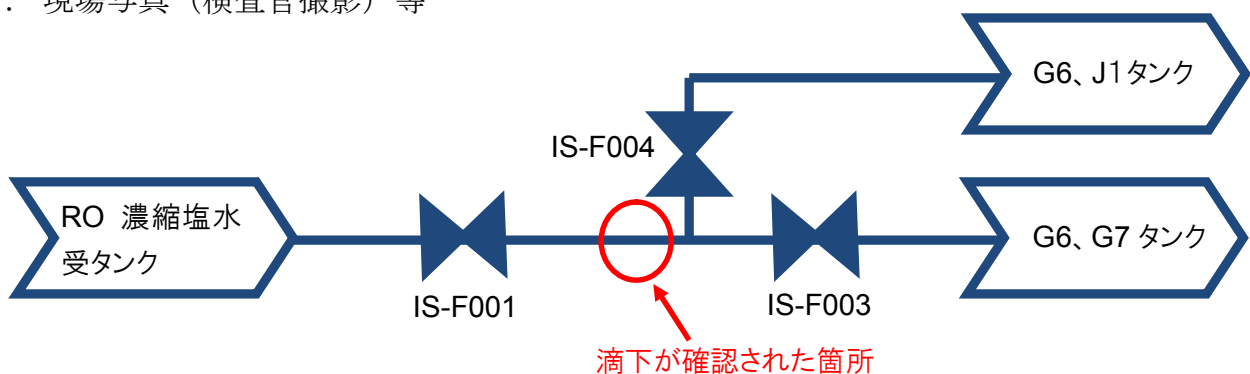
3. 現場確認結果

Sr処理水の滴下が確認された場所は、Sr処理水をRO濃縮塩水受タンクからG6タンク等へ移送するラインのフランジ部であった(図1)。

現場では、当該フランジ部の上流側及び下流側の第一弁(IS-F001、IS-F003及びIS-F004)が閉状態にされており、当該フランジ部が隔離されていることを確認した(写真1~3)。当該フランジ部では保温材が剥がされ、元々当該フランジに施されている吸水材及びビニールによる養生の上からビニール袋が被され、漏えいが拡大しない処置がとられていた。さらに、その下にアクアブロックを設置し、土嚢で囲うことにより、仮にビニールから漏えいしてもその範囲を限定的にとどめる処置が図られていた(写真4、5)。また、本日夕方から降雨の予報であることから、雨水を近傍の土壤等に接触させない等の目的で、当該フランジ部周辺に屋根を設置する作業にとりかかるところであった。

事業者の今後の対応としては、屋根の設置、近傍の汚染された土壤の回収、隔離部分の配管からの残水回収及び当該フランジ部の確認等の原因調査を行う予定とのことである。

4. 現場写真(検査官撮影)等



【図1】RO濃縮塩水受タンクからG6タンク等への移送ライン。T部(鋼管)と直線部(PE管)を接続するフランジ部から滴下。



【写真 1】IS-F001。閉状態。



【写真 2】IS-F003。閉状態。



【写真 3】IS-F004。閉状態。



【写真 4】当該フランジ部。吸水材及びビニールの上からビニール袋が被されている。また、その下にはアクアブロックが設置されている。



【写真 5】当該フランジ部の周囲に土嚢が設置されている。